

# 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) における プロジェクトの進捗確認について

平成19年8月1日

宇宙航空研究開発機構

統括チーフエンジニア 向井 利典

# 1. 経緯

JAXAにおけるプロジェクト管理の一層の強化に向けて、平成19年4月11日、宇宙開発委員会に対し具体的な対応を報告し、経営審査の充実(フロントローディングの強化)、チェック・アンド・バランスの強化(理事長自らによるプロジェクト進捗確認を四半期毎に実施)を図ることとした。(下図参照、本資料はプロジェクト進捗確認について報告)

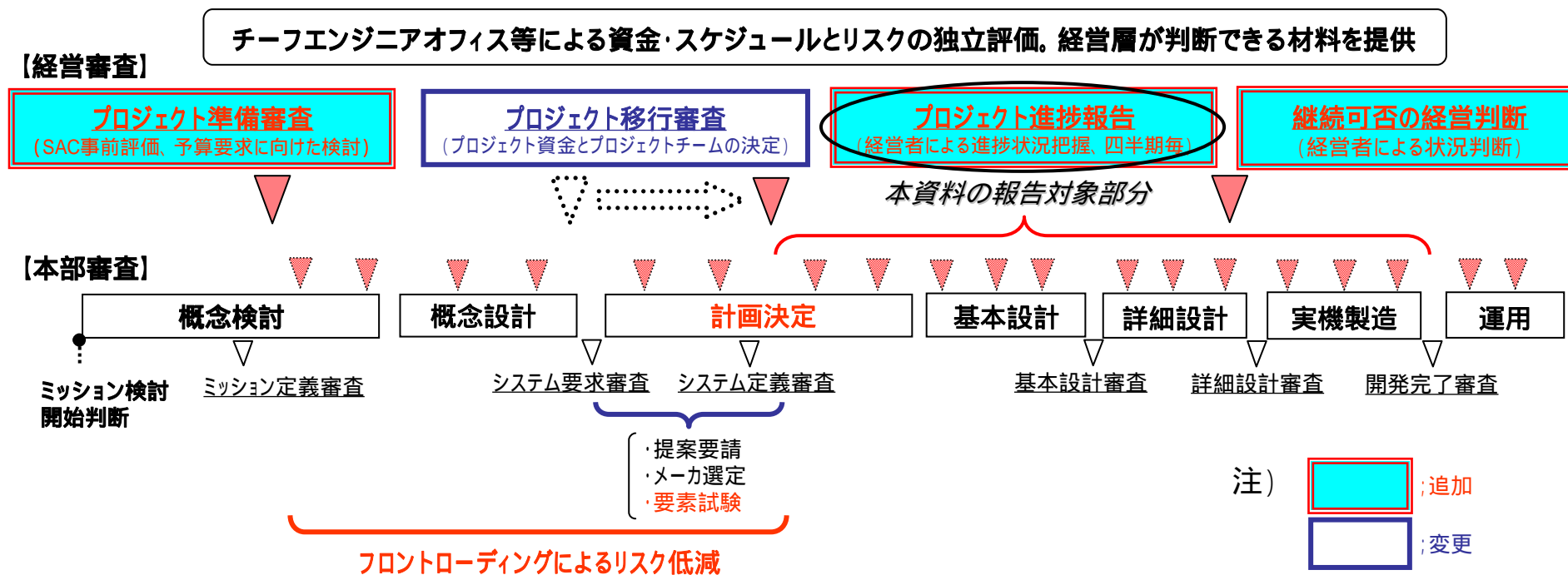


図. JAXAにおけるプロジェクト管理の強化

## 2. 実施状況

この方針に基づき、JAXA内にて平成19年7月10日にプロジェクト進捗報告会を開催。理事長が開発フェーズ(基本設計から打上げまでの段階)にあるプロジェクトのプロジェクトマネージャーと直接面談を行い、プロジェクトの進行状況、資金状況、ミッション基本要件達成の見込み等のプロジェクトにおける重要事項について報告を受けた。

なお、報告対象となったプロジェクトは次頁に示す。

## 3. 確認結果

プロジェクト進捗報告の結果、現在、中止等の重大な変更を検討すべき状況にあるプロジェクトはないことを理事長が確認した。

また、一部のプロジェクトに散見される業務量の増加に伴う人員の不足等については、機構横断的に人的リソースの再配分を行う等により対処する。

表. JAXAにおける開発段階にあるプロジェクト一覧

	プロジェクトの状況
宇宙ステーション補給機 (HTV) / H-IIB	国際宇宙ステーションへの補給、民間の国際競争力強化への対応を目的としたものであり、HTV技術実証機の製作・試験を実施中。また、H-IIBロケットの詳細設計を実施中。
LNG (液化天然ガス) 推進系飛行実証	将来輸送系キー技術の有力候補である液化天然ガス (LNG) 推進系の基盤技術の確立が目的としたものであり、GXロケットでの飛行実証に向け開発中。
「きぼう」日本実験棟 (JEM)	国際宇宙ステーションの一部として、宇宙環境利用実験等を行うための日本の実験棟 (JEM) の打ち上げに向けた準備作業を実施中。
超高速インターネット衛星 (WINDS)	衛星を用いた広範囲の超高速データ通信を可能とする技術を実用化するための実証実験を行うことを目的としたものであり、衛星フライトモデルのシステム試験を実施中。
温室効果ガス観測技術衛星 (GOSAT)	温室効果ガスの全球濃度分布観測により亜大陸レベルでの測定精度を向上させ、環境行政に貢献することを目的としたものであり、衛星の詳細設計を実施中。
準天頂衛星システム	高精度測位衛星システムの基盤技術の開発及び実証を目的としたものであり、このシステムの整備運用により、関係研究機関と協力して技術実証・利用実証を推進する。準天頂衛星システムの基本設計を実施中。
月周回衛星 (SELENE)	「月がどのように形成され、どのような変遷をして現在に至っているか (月の科学)」の核心に迫る科学データを取得することを目的としたものであり、衛星開発試験は終了し、打ち上げ準備作業中。
第24号科学衛星金星探査機 (PLANET-C)	金星周回軌道上からの赤外線観測・紫外線観測により金星の大気循環メカニズムを解明、惑星気象学の確立に資することを目的としたものであり、探査機 (フライトモデル) の詳細設計を実施中。